

# 会社を発展させる経営戦略策定講座

## 成長する戦略シナリオ作成メソッドを学ぶ

### 研修のねらい

環境変化の激しい中で中小企業が持続的に発展していくためには、他社との差別化を図り自社の優位性を獲得することが重要です。そのためには、自社の経営シナリオとなる経営戦略を打ち出して経営を行うとともに、環境変化にあわせて戦略を柔軟に修正していくことが必要になります。

本研修では、経営戦略の意義や策定プロセスを理解した上で、現状分析の手法や戦略立案の進め方、論理的な思考展開について、演習を交えて学びます。また、インターバルを活用して実際に自社の経営環境分析と戦略立案に取り組むとともに、実効性のある経営戦略の運用方法を理解します。

### 研修の特徴

- ☑ 中小企業にあった経営戦略策定プロセスを理解し、実行可能性の高い経営戦略を検討します。
- ☑ 各種フレームワークの活用法が理解でき、自社のビジネスモデルを客観的に把握できます。
- ☑ インターバルを活用することで、実際に自社の経営戦略の立案に取り組めます。

### 研修期間

2026年 10/26(月)~27(火)  
11/25(水)~26(木)  
(4日間・26時間)

### 対象者

#### 経営者、経営幹部

- 自社の経営企画に携わる方
- 経営戦略の基本と策定手順を学びたい方
- 分析力や戦略理解力を高めたい方

定員 20名

受講料 36,000円(税込)

※受講料は変更になる場合があります。

### 会場

#### 中小企業大学校 三条校

新潟県三条市上野原570

月日	時間	科目	内容
10/26 月	9:20~9:30	オリエンテーション	
	9:30~17:30 (昼休憩 12:00~13:00)	経営戦略の意義と その必要性	企業における経営戦略の位置づけとその必要性を考えます。 ● 企業経営と経営戦略の意義 ● 中小企業の経営と経営戦略
10/27 火	9:30~16:30 (昼休憩 12:00~13:00)	経営戦略の策定プロセスと 自社戦略の立案	中小企業にとって実行可能性のある経営戦略にするために、戦略論やフレームワークの活用の仕方を学びます。 また、自社の経営課題を抽出して、経営戦略の立案に取り組めます。 ● 経営戦略の基本と策定プロセス ● ドメイン(事業領域)の定義 ● 利益獲得と付加価値創造の仕組み ● クロスSWOT分析 ● 自社の経営課題の抽出と戦略立案
インターバル課題「自社の現状分析と経営戦略の検討」 前半の講義内容を踏まえ「経営戦略シート」を自社で作成します。			
11/25 水	9:30~17:30 (昼休憩 12:00~13:00)	自社の経営戦略の ブラッシュアップ	インターバルで取り組んだ課題を基に、自社経営戦略のブラッシュアップに取り組めます。 ● インターバルの振り返り(ディスカッション) ● 自社経営戦略のブラッシュアップ
11/26 木	9:30~16:30 (昼休憩 12:00~13:00)	効果的な運用方法と 定着化	経営戦略を実行し、継続して見直しを図り、組織に定着化させる方法を学びます。 ● 実行可能性を高める実践のコツ ● 組織づくり、人材育成の重要性 ● 継続化、定着化のための仕組みづくり ● 経営戦略の見直しの進め方
	16:30~16:40	修了証書の授与	

※カリキュラムは都合により変更する場合がございますので予めご了承ください。

※お申し込み方法、お問い合わせ先等は裏面をご覧ください。

### 講師紹介(敬称略)



有限会社まる進  
代表取締役

渡辺 進也(わたなべ しんや)

昭和52年、宮城県仙台市生まれ。平成9年に家業を事業承継し、中小企業の経営者となる。赤字累積、売上減少、借入金増加という暗黒時代を経験。平成19年に宮城県知事から経営革新計画の承認を受けたことをきっかけに、業績をV字回復させた。自らの失敗体験やクライアントでの成功体験をもとにしたアドバイスは、わかりやすく実践的で納得できると高い評価を得ている。金融機関や支援機関での支援実績も多数。これまで19年1,900社以上の経営相談に対応し多くの事例に触れ続けている。心を込めた経営戦略、経営計画が売上・資金繰りを善循環させることを自ら実践し、伝え続けている。

著書に「おたく以外にも業者ならいくらでもいるんだよ。…と言われたら～社長が無理と我慢をやめて成功を引き寄せる法則22」(みらいパブリッシング)「図解でわかる PDCAサイクルのつくり方」(アニモ出版)など。

# ◆WEB申込みの方法

## 1 ホームページにアクセス

三条校   

<https://www.smrj.go.jp/institute/sanryo/index.html>

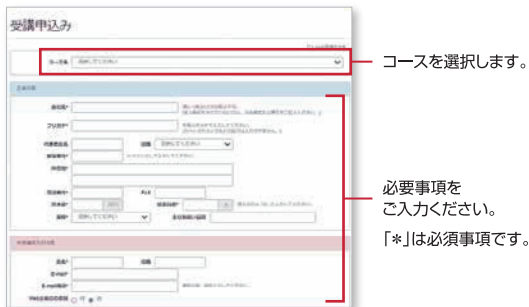
## 2 三条校トップページ下部

三条校のおすすめ-「申込みから受講までの流れへ」をクリック。  
→「Web申込みへ」をクリック



※三条校の研修を探す-「研修一覧」より研修を検索してから「WEB申込み」を行うことができます。

## 3 「受講コース」を選択後、必要事項を入力してください。



## 4 確認画面 → 申込み実行

「確認画面へ」をクリックし、内容が正しければ「申込み実行」をクリック。



申込み完了後、三条校から確認メールが送信されます。

※確認メールが届かない場合や確認メールの内容が異なる場合は、お手数ですが三条校までご連絡ください。

次回からのお申込みが簡単に!

### Web企業IDの登録がおすすめ!

WEB企業IDを登録することで、次回からのお申込みがより簡単に!ぜひ、この機会にご登録ください。

#### 登録方法

① 受講申込みのページ「事務連絡担当者」欄にある「Web企業IDの登録」で「可」を選択してください。

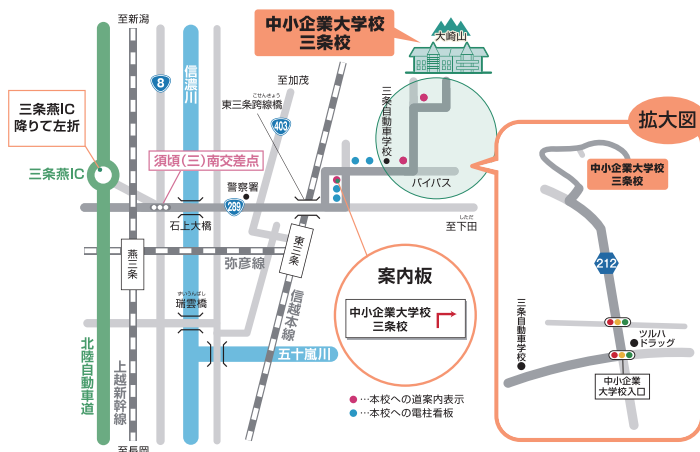


- ・初回お申込み完了後、ご登録のe-mailアドレス宛に「お申込み受付の確認メール」が送信されます。
- ・内容に従い、必ずWeb企業IDのパスワード設定をお願いします。
- ・次回以降は「Web企業IDを登録」欄にIDと設定したパスワードを入力ログインしていただく企業情報などが自動で入力されるほか、過去の申込履歴をご覧いただけます。

## 受講申込みにおける個人情報の保護について

個人情報保護法に定義される個人情報に該当する情報については、中小機構内で実施する事業で使用します。当該個人情報の第三者(業務委託先及び担当講師を除く)への提供または開示はしません。ただし、お客様の同意がある場合、及び法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものとします。

## ◆会場のご案内



### 自動車ご利用の場合

- 北陸・関越自動車道(高速)「三条燕インター」…………… 7.4km(約25分)
- 国道8号線「須頃(三)南交差点」…………… 7.1km(約25分)

※ 国道289号線(下田方面)に沿って「信越本線陸橋」(東三条陸橋)を渡れば、本校まで7~8分の距離です。また、その辺りから案内標識や電柱看板が出ています。

### JRご利用の場合

- 上越新幹線の「燕三条駅」…………… 7.9km(タクシー約25分)
- 信越本線の「東三条駅」…………… 3.8km(タクシー約10分)

## ◆受講対象企業

資本金、従業員数のいずれかが下表の範囲であれば対象となります。

業種	資本金	従業員数
製造業・建設業・運輸業・ソフトウェア業・情報処理サービス業・その他の業種(※)	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下
旅館業	5千万円以下	200人以下

(※) その他の業種には、鉱業・電気・ガス・熱供給・水道業、金融・保険業、不動産業等が含まれます。  
(※) 経営コンサルタント等の中小企業の支援に関する事業を営む方、中小企業診断士・税理士・公認会計士・技術士等の中小企業支援に関する資格を有する方、教育・研修事業者の方は受講をお断りする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## ◆宿泊の申込み方法

宿泊をご希望の方は、お電話またはWEB申込みの入寮申込欄に必要事項をご入力の上、お申込みください。お問い合わせフォームからも申込みできます。

施設/ 宿泊室のほか、談話室・浴室・図書室・体育室などがあり、快適な研修生活を送っていただけます。

寮費/ 1泊朝食付2,500円(税込)

※寮費は変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

※事前のご連絡なく宿泊をキャンセルされた場合、寮費を全額申し受けますのでご了承ください。

食事/ 昼、夕食合わせて1,300円程度

駐車場/ 無料(100台収容可能)

## ◆受講決定のご連絡

受講申込みをされた企業の連絡担当者様宛てに、開講1か月前を目途に『受講受入決定通知書』を送付いたしますので、指定期日までに受講料をお振込みください。

※指定期日までに入金がない場合、受講いただけない場合がありますので、ご注意ください。

※納入された受講料は、受講辞退の場合でもその全額または一部を申し受けますのでご了承ください。

## ◆注意事項

※応募者多数の場合、受講人数を調整させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

お問い合わせ先

中小企業大学校三条校 研修担当

〒955-0025 新潟県三条市上野原570 TEL:0256-38-0770(代) FAX:0256-38-0777



この印刷物は「グリーン購入法」に適合した再生紙を使用しています。